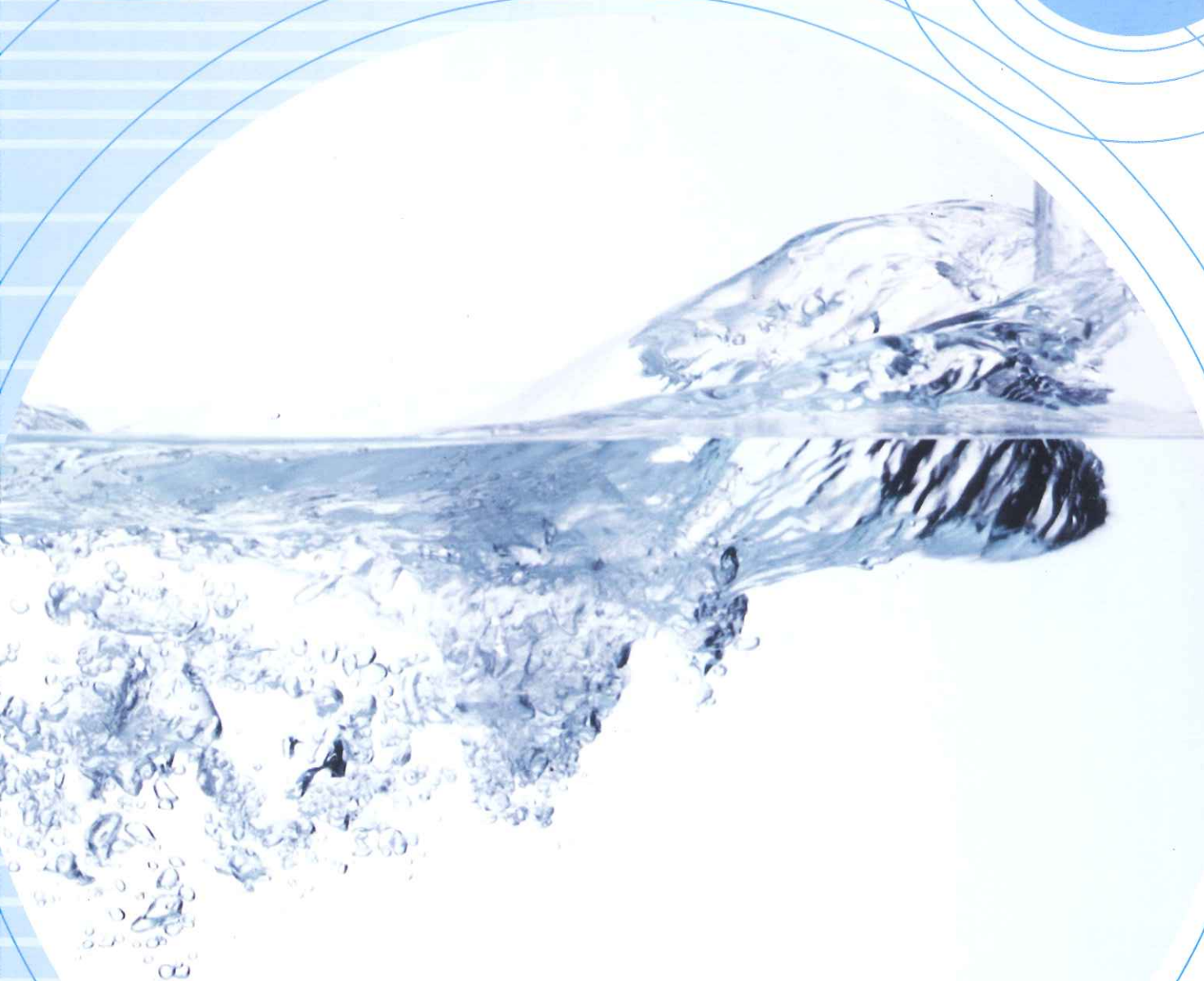


水だより

高松

Vol.28

発行2013年8月



高松市上下水道工事業協同組合

〒760-0018 香川県高松市天神前5番30号
TEL 087-831-5633(代) FAX 087-861-9921



理事長就任挨拶

高松市上下水道工事業協同組合
理事長 岩井 孝博



高松市上下水道工事業協同組合は、平成25年5月23日をもって
まして節目である創立60周年を迎える事が出来ました。改めて
諸先輩の方々より、組合員・賛助会員の皆様 又、高松市上下水
道局様始め全ての関係諸団体の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

その記念となる組合60周年の通常総会にて、創立から数えま
すと第9代目の理事長を任命されました。

組合の理事を任命されちょうど10年が経過した年にあたります、その10年前の時を同じくして、前任の中川理事長(現在 相談役理事)が組合の季刊誌である水だよりを発刊されました。組合の歴史を知る上でも大変貴重な資料となっています。今回最初から読ませてもらいましたが、改めて、10年と言う月日の重みを感じずにはいられません。そのうえで、その何倍にもあたる60年の日々に対し、想いを巡らせています。

季刊誌の中でも教えられましたが、組合は組合員の為に存在しなくてはならない。と言う根底のポリシーが最も重要であるという思いをさらに強く感じました。

それと同時に組合員の為の組合である為にも、高松市民の安全安心を水を通して守り抜く組合であらんことを、地域の為の組合であらんことを、今以上強く願うものであります。

組合とは、人々が、合い組あつて、共に意見を出し合いながら、肩を組、同じ目的に心合わせ、共に歩んで行く組織だと思っています。昨今の業界動向は今だ先の見えない瞑想状態であり、常に模索状態であります。今後ともその現象は人口の減少と共に、大なり小なり脱皮出来にくい試練としての継続となる事でしょう。

組合は、その為に存在しなければなりません。個々で動く時も、小さくて弱いものは、その小ささの利点を利用した小回りのきく機敏な対応を武器にしたり、又逆に組合員全員が1つになり、大きい組織として大きな目的の為に力合わせて行動することも可能です。組合は、大きくもなり、小さくも動けます。

そんな、素晴らしい組織は時代がどんなに変わろうとも、人が生活の中心である限り、必ず必要となる組織であります。

今後とも組合活動の円滑なる運営にご尽力頂き、ひいては、組合が今後も輝きを持ちながら永続していく為に、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、謹んでお願い申しあげ、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を頂きながら、全力を尽くす覚悟でございます。簡単ではございますが、新任の挨拶にかえさせて頂きます。ありがとうございます。

● 御挨拶

高松市上下水道事業管理者
石垣 佳邦



高松市上下水道工事業協同組合が、本年度創立60周年という記念すべき節目を迎えられましたこと、まず以てお喜びを申し上げます。

また、高松市上下水道工事業協同組合の岩井理事長様を始め、役員、そして組合員の皆様には、日ごろから、本市上下水道事業の普及推進と維持管理、さらには、円滑な事業運営に格別の御尽力・御協力をいただいておりますこと、また、本年5月には、災害時における飲料水確保の大きな一助となります『災害時用ろ過浄水ユニット「創水たまてばこ」を御寄贈いただきましたこと、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申しあげます。

さて、本年3月に内閣府から公表されました「南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)」では、県内のライフライン被害は、断水率が被災1日後で93%、下水道支障人口が被災直後で90%になると予測されております。命を守り、生活を支える上下水道事業の責任者として、施設の耐震化はもとより、被災後の応急給水や応急復旧など、危機管理体制の充実・強化が喫緊の課題

であると存じております。

このようなことから、卓越した技術力と豊富な経験を有され、さらには上下水道の各種工事を通じ、公衆衛生の向上に多大な貢献をいただいております貴組合と、災害時における応急給水や応急復旧に関する協定を締結いただいておりますことは、誠に心強いものと存じておりまして、「安心して、いつでも、いつまでも使える上下水道システムの構築」を目指した「高松市上下水道事業計画」の達成に向け、今後とも、貴組合との緊密な連携を基本に、各種施策の推進に取り組んでまいりる所存でございますので、一層の御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、平年より10日も早く梅雨明けして以降、連日のように猛暑日が続いております。くれぐれもお体には御自愛いただきますよう、また、貴組合の今後ますますの御発展と、組合員皆様方の御活躍を御祈念申しあげまして、御挨拶とさせていただきます。

ごあいさつ

残暑がひとしお身にこたえる毎日ですが、高松市上下水道工事業協同組合の皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素、皆様方には、市民だれもが安心して生活できる水環境を創造するため、上下水道施設の近代化・効率化を初め、日々、専門知識・技術の研鑽を重ねられ、事業経営の強化等に積極的に取り組まれておりますこと、厚く御礼申し上げますとともに、深く敬意を表する次第でございます。

私たちは普段何気なく水を使い、毎日、安全に供給されて当たり前と思っておりますが、上下水道事業は、集中豪雨や台風、浸水、大規模な地震など、自然災害の発生や水質事故などの非常事態においても、市民の生命や生活維持のため、安定して機能を確保することが求められております。

このような中、先般、国において、近い将来発生が現実視されている南海トラフの巨大地震の最終報告が公表されました。これは起こり得る最大クラスの地震・津波による被害想定であり

高松市上下水道工事業協同組合

顧問 三笠 輝彦



ますが、災害時の被害を最小限にとどめるためには、災害はいつ起きてもおかしくないという意識を、私たち一人一人が持つて、常日ごろから災害に備えることが重要であります。こうしたことから、本市としましても、例え、千年に一度であっても、そのような規模の災害が起こり得ることを想定した上で、引き続き、施設・整備の耐震化のほか、応急給水・応急復旧体制の整備など、総合的な震災対策を、市民、企業、行政などの、より一層の連携のもと、推進していく必要があるものと存じております。

どうか、組合員の皆様方におかれましては、市民の生活基盤を守るという重要な使命を果たすため、上下水道の普及促進と維持管理に、なお一層のご尽力を賜われますようお願い申し上げます。次第でございます。

最後になりましたが、高松市上下水道工事業協同組合のますますのご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げます。まして、ご挨拶とさせていただきます。

●ごあいさつ

副理事長 (株)松浦水道 松浦 一郎



組合員の皆様におかれましては、ご盛栄のこととお喜び申し上げます。この度、副理事長を仰せつかりました。(株)松浦水道の松浦です。まだまだ若輩者ですが、この大役をお受けいたしましたうえには、『熱意・誠意・創意』をモットーに歴史ある組合の発展に少しでもお役に立てるよう全力を尽くす所存ですので、何卒、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

現在、組合員数82名、賛助会員数19名と約100名の大所帯の中での副理事長としての責務の重さを感じますが、また逆に地域社会に上下水道を通して貢献をしていくといった使命感も大きく膨らんできています。

高松市上下水道工業業協同組合は、今年5月23日に創立60周年事業を無事終えることが出来たのも、組合員の皆様方のご尽力がゆえに達成することが出来たとおもいます。

当組合には、頼もしい25名の青年の集団である青年部、また心安らぐ婦人部の集まりの水明会の皆様方との絆を深め、今後、予測されます災害が発生した時に上下水道の復旧作業、また渇水時における様々な対応、また組合が取り組んでいる事業活動を組合員全員で一致団結して、9代目岩井理事長と共に乗り越えていきたいと思っています。

最後になりますが、組合は、組合員あつての組合であることを忘れずに『熱意・誠意・創意』をもって高松市上下水道工業業協同組合の発展の為に努力していく所存でありますので、尚一層のご支援の程、宜しくお願い致します。

●青天の霹靂

専務理事 奈良 稔



五月の総会において専務理事に就任しました。私には青天の霹靂でした。その器には程遠い者ゆえ固辞しましたが、説かれて引き受けました。

総会において、組合創立60周年記念行事で編まれたDVDを鑑賞し、長年高松市民のライフラインを支え市民の傍らで着実な歩みを続けてきた組合の歴史や功績に、胸をあつくしました。その間運営に尽力された歴代役員や組合員の皆様の真摯な活動姿勢に私は襟を正され、就いた役職の重さを改めて噛みしめました。私は、偶然にも本組合と同じ歳で、今年還暦を迎えました。夢や希望を追いかけたころの情熱はすっかり影を潜めました。が、身体に鞭打ち、年の功を唯一の杖に組合運営に微力を捧げたいと考えています。

豪腕と卓越した経営力で組合運営を牽引した前理事長、中川相談役が第一線を退かれたのには一抹の寂しさを感じます。

私は、後任を託された堅実で配慮の届く岩井理事長や松浦副理事長を補佐し、若い理事諸氏の闊達な意見の集積に努め、よりよい組合が維持できるよう支えて行くつもりです。組合員皆様には率直なご意見や温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

●新しい年度を迎えて

相談役理事

中川 悟



60周年と申しますが、長い時の流れの中で厳しい移り変わりがあり、当組合もその影響を受け、幾多の変遷もくぐり抜けて参りました。60年という節目を迎え、今後の新たな課題が山積みしておりますが、若い発想、行動力が必要と思います、岩井新理事長に組合運営を託しました。

その他の新役員も、私の念願でした、50周年で会社の後継者25名で青年部を設立した青年部会から10名登用致し、これからは岩井新理事長のもとで、新しい若い役員で新たに一致団結し、全力を挙げて組合運営をもとより、社会に貢献していただきたい。私も相談役として、協力させていただく所存です。

また、前役員、組合員の皆様には大変ご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。関係各位におかれましては、今後とも、若い役員ですが、格別のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

●ごあいさつ

理事 不二設備工業(株) 安藤 慎男



この度、理事となった不二設備工業株式会社の安藤と申します。日頃は組合の活動にご理解ご協力くださいます。誠にありがとうございます。

最初、岩井新理事長から「安藤君、役員頼むぞー!」と言われた時、あっはいっと簡単に返事をしてしまつて、後からまてよ? 僕が役員? まじで!? やばいぞとボロボロのようにじわじわと不安になりました。しかし1度引き受けた物は仕方ないと開き直り、なんとか少しでも新理事長の力になるつもりで頑張ろうと思ひ役員をすることを決心しました。

私の簡単な自己紹介ですが、年齢は39歳、役員では2番目に若いと思います、趣味はサッカー、ゴルフ等スポーツが好きで特にサッカーは子供がスポーツ少年団に入ってるのですが、一緒にコートもしております、子供と一緒に楽しみながらボールを蹴ることが、お酒と共に日頃の仕事のストレスの発散になっております。

まだまだ、仕事の事、組合の事もわからない事がたくさんあり、皆様には大変ご迷惑をおかけすると思いますが、持ち前の若さと、明るさでなんとか皆様のお力になれるよう、誠心誠意、組合の仕事にまい進する所存でございますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い致します。

●ごあいさつ

理事(株)三木設備

三木 良雄



今年度、組合総会にて役員を仰せつかりました(株)三木設備 三木と申します。

役員となり、組合組織を見渡してまず気が付いてのは、「若さ」でした。次世代の後継者たちが、あらゆる面に参加及び意見交換をしているのを見て頼もしく感じたと同時に、今まで色々行事等に参加して参りましたが、「若輩者ですが…」という言葉からは卒業かなと感じました。諸兄方にはこの勢いで大いに活躍していつて欲しいと思います。

これからは、理事長以下ベテラン諸先輩方々、そして若き後継者たちと共に組合活動に日々精進する所存でございます。どうぞよろしくお願い致します。

●ごあいさつ

理事 (有)安西工業所 安西 明裕



この度、当組合の理事を仰せつかりました(有)安西工業所の安西明裕と申します。若輩者ですがどうぞよろしくお願い致します。

今年度第一回役員会に出席させて頂き、改めて責任の重大さを痛感しましたが、理事長はじめ、組合員の皆様のご指導を頂き、前向きに取り組む頑張りたいと思っております。

私は、生活に欠かせない水に関わる仕事を始めて、二十五年が経ちます。

入社した頃は、書類・図面等の、ほとんどが手書きの作業でした。それが今では、パソコンを使つての作業に変わり、管材も工法も多種多様になりました。しかし、作業環境はあまり変わっている様には思えません。

社会の大切なライフラインに関わる第一線で活躍している職人が、胸を張って、誇りを感じながら作業できる環境に変われば良いと思っております。

最後になりましたが、微力ではありますが、皆様の、ご要望に少しでも答えられる様に、努力、研鑽をしていきたいです

●新任のご挨拶

理事 (有)浮田設備工業所 浮田 浩之



このたび、高松市上下水道工事業協同組合の理事を仰せつかりました(有)浮田設備工業所の浮田でございます。どうか組合員の皆様方、よろしくお願ひいたします。

まずは、基本と正道の精神にのっとりまして邁進していく所存であります。

青年部会を卒業しまして、5年が経過しております。組合活動の勘が鈍っておりますが、青年部会の部会長とか全管連青年部協議会の理事の経験並びに勉強させていただいたことを生かして、今回の理事の仕事にフィードバックできればと考えております。

さて、このたび技術委員会を担当になっておりまして、給水装置工事主任技術者試験の準備講習会などの各種講習会の講師役を、務めさせていただきます。

きます。

先日、役員会の帰り際、全国管工事業協同組合連合会の発行しております試験問題集を手渡されました。9月に準備講習会が開催予定でありますから、夏休みの宿題となりそうでございます。

安西技術委員長共々、新任理事でございますが、青年部会で気心もわかつておりますので、二人三脚で協力しながら、技術委員会の仕事を全うしていく所存であります。

最後になりましたが、岩井理事長ならびに中川相談役理事はじめ理事、監事の皆様方及び職員の皆様、私は、まだ経験の乏しい若輩者でございますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

●ごあいさつ

理事 (有)新上電機 新上 博之



酷暑の候、皆様にはますますご健勝のことと存じます。今年も梅雨明けも早々に過ぎて猛烈な暑さ続きで、熱中症の言葉が一日中飛び交っています。信じられない程の人々が救急で治療を受けています。気象予報の説明を聞きながら、自然の怖さを強く感じています。

そんな中でも豪雨からでも、心配していたダムの貯水量が恵みの雨で満水と知り、この夏も安心感でほっとしています。これもまた自然のおかげであり感激です。

私はこの度、再度理事になりました。前回は大合併の際、初めてで全く何一つわからず、周囲の方々にはご迷惑をおかけしたり御世話になりました。今回も同様ですが。

世界中が異常気象の中で、専門家のお話ですと現在も気温がだんだん高くなっていて、それが普通になるといわれています。これは大変なことですので、普段から頭に入れて少々なにかあってもあわてなくて済むようにみんなで緊張感を持って生活しなければと思います。

皆様にも限りある水が無駄なく大切にお使い頂くことを再度お願いし、私も及ばずながら東部地区として修繕業務等一つからでもきちっと貢献できたらと頑張っていると思います。

今後とも御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。

●ごあいさつ

監事 (有)友澤電設 友澤 幹知



先日の第60回通常総会に於きまして高松市上下水道工事業協同組合監事の大役を

パイプ役を担い組合運営のお力添えをさせて頂きたいと思っています。

仰せつかりました、(有)友澤電設 友澤幹知と申します。今回の岩井新理事長をはじめとする新体制の中でも一番の若輩者かつ田舎モノでございます。

組合内の担当としましてでは広報委員長をさせて頂く事になりましたので、この『水だより』であるとか、組合ホームページの運営に携わらせて頂きます。会員の皆様には原稿執筆の依頼をする事も御座

いますが香川県営野球場のある下笠居校区にありまして、山と海に挟まれた自然豊かないわゆる田舎で御座います。お近くに寄られた際は是非一声おかけ下さい。

皆様に原稿執筆の依頼をする事も御座いますが、その際には面倒臭がらずに快諾して頂けるよう様お願い申し上げます。重ねて期日厳守でお願いします。

また、組合青年部会にも所属しております。まして副部長も務めさせて頂いております。

最後になりましたが勇退されました前任理事の皆様方、今まで本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

昨年の青年部会創立10周年の際には水道事業管理者の石垣佳邦様をはじめとする沢山の御来賓の方々や親組合の皆様にご列席賜りお祝いして頂きました事を遅ればせながら御礼申し上げます。組合監事として青年部会副部長として各々の

諸先輩方が築き上げてきた組合の歴史を重んじながらも、若さと僅かでは御座いますがITの知識を活かして少しでも組合員の皆さまのお役に立てる様務めていく所存でございますのでこれからもご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

●新役員になつて

理事 (有)草薙電気 草薙 義弘



「水だより」の原稿依頼のFAXを見て、何を書こう?と一瞬思い、作文、感想文など文字を書くことはほとんど「ご無沙汰状態」でした。

日々の仕事で、設計図、竣工図をパソコンで作成することが多く、机に向かって鉛筆を走らせることはほとんどありませんでした。

本年の総会から、初めて「役員」となつたのですが、今まで研修旅行に二、三回参加した程度で、何人かの顔を知ってるくらいでしたので「緊張」と「不安」が入り交じっています。

まだ理事会出席、御殿場浄水場での設備準備など、様々な組合行事経験しかありませんが、向こう二年間、微力ながら岩井理事長さんを始め先輩役員の皆さんと一緒につとめていきたいと思っています。

青年部

部会長 高尾工業(株) 高尾 雄二



高松市上下水道工事業協同組合

の創立60周年、青年部会員一同心よりお慶び申し上げます。また、公務ご多忙中にも関わらず高松市長である大西秀人様、水道事業管理者の石垣佳邦様をはじめとする多くの御来賓の方々が参列された記念懇親会の席に同席させていただきましたことに感謝申し上げます。

私共青年部会は、昨年創立10周年という一つの大きな節目の年を迎え、多くの方々に祝っていただきました。改めてこの場をお借りして御礼申し上げます。有難う御座いました。

私自身、青年部会創立当時から参加させていただいていますが、記念祝賀会の席では、中川前理事長が中

心となって設立した我々青年部会が10年の間で数々の事業を精力的に活動してきた成果の一つとして高松市から四国へ、そして全国へと横の繋がりが大きく広がってきたことを実感しました。これも偏に当日御列席賜りました皆様の支えのお蔭と感謝しております。

これまで先輩方の努力により盛り上げてきていただいた青年部会の活動を益々活発なものとし、部会員相互の繋がりを一層強固なものにして若い世代に引き継いでいきたいと考えておりますので、これまでに以上の御指導・御鞭撻を何卒宜しくお願い致します。

高松市へ緊急浄水器寄贈 5月16日 四番丁スクエア



60周年事業

5月23日
JRホテルクレメント高松



第16回タぐれコンサート

6月1日
高松市水道資料館



高松市長感謝状

理事:高尾保様/理事:高木新一様/理事:渡辺光章様/
副理事長:阿野善一様/専務理事:松浦一郎様

香川県中小企業団体中央会会長表彰

(株) 高橋水道:高橋正秀様/(有) 藤澤水道工事所:藤澤由晴様
浦川設備興業(株):浦川和秀様/岩井設備(株):岩井孝博様

今後の事業予定

11月9日 給水装置工事配管技能検定会/11月20日 配管工講習会

婦人部

婦人部水明会会長
(株)福田工業 福田 悦子

設立60周年おめでとうございます。

高松市上下水道工事業協同組合という正式名より「組合」という呼び方で親しんできて四十数年になります。

諸々の申請のため父に連れられ水道局、下水課、道路課などを廻り、次からは一人で行くようになりました。

何もわからないまま申請書を書き、見よう見まねで図面を書いて水道局へ出すものですから、何度も何度も訂正や補足に行き、情けないやら口惜しいやらの気持ちで何度組合の机のため息をついたとか。

そんな時、いつも申請に来られてる先輩方に親切に教えてもらいました。水栓番号を調べるのはどのキャビネットとか、本管の口径は水道局のどの方に聞けばよいか、また申請が遅れて工事に着工できないときの対応など、今にして思えば組合そのものが大きい一つの会社のように、新人の私を育てて下さったように思えます。

その組合員同士それとなく助け合う伝統は今も引き継がれています。

全国でも唯一活動的な婦人部の水明会の誕生も組合の研修旅行に参加して仲良くなった女性十五名で小旅行に行ったのがきっかけです。

また、平成元年六月の全管連全国総会の開催県のときは県民ホール、瀬戸大橋の開通で役目を終えた連絡船が観光船さぬき丸となっていたので瀬戸内海洋上懇親会とし、夕暮れの瀬戸大橋を見ながらの会場においては遠来のお客様にお抹茶の接待で婦人部一丸となってお手伝いさせて頂いたことも楽しい思い出です。

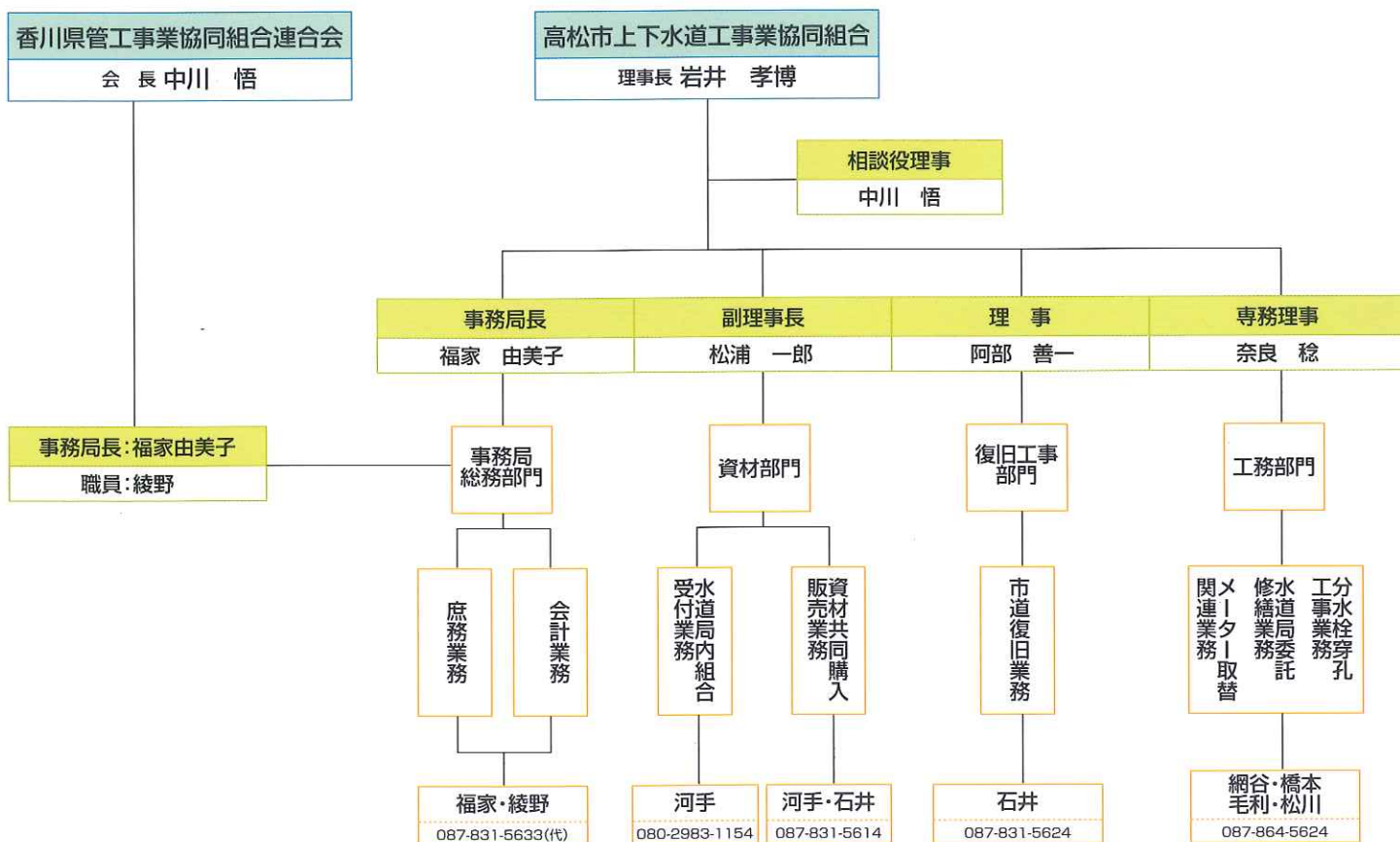
青年部発足もあって、今や押しも押されぬ立派な組合に発展したことは嬉しく、また誇りに思います。

水明会も『内助の功』という女性の力を発揮して、これからも組合とともに歩みたいと願っております。



事業実施体制図

H25.6月現在



高松市上下水道工事業協同組合 災害・緊急 漏水事故修繕ネットワーク組織表

H25.6

